芸能花伝舎

GEINOKADENSHA

芸能花伝舎 第3号 2005年9月30日発行

社団法人日本芸能実演家団体協議会 芸能文化振興部
〒160-8374 東京都新宿区西新宿6-12-30 芸能花伝舎 2F
TEL:03-5909-3060　FAX:03-5909-3061
infope@geidankyo.or.jp　http://www.geidankyo.or.jp

vol.03 芸団協

さぁ、**おまつり**が始まります！

秋は、お祭りのシーズン。芸能花伝舎も、初めてのおまつりを開催します。10月1日（土。11時ごろから16時ごろまで）に、チャリティーウォーキング、無料健康づくりコーナー、模擬店などのほか、芸能人ゆかりの品物が多数出品されるチャリティバザーもあり。そして、芸能花伝舎らしく、オペラやガムランコンサートや人形劇なども楽しめます。このおまつりは、新宿区、淀橋町会と共催で、「大新宿区まつり」の協賛イベントでもあります。地元のみなさまをはじめ、芸能花伝舎が大勢の方々に親しんでいただけるきっかけとなることを願っております。芸能花伝舎にまだいらしたことのない方も、この機会にぜひどうぞ。

チャリティーウォーキングとは？

日本俳優連合が、毎年開催してきたもので、今年で9回目。俳優さんや声優さんたちと、談笑しながら短い距離をゆっくり歩こうというもの。俳優と歩くのを楽しみにしている常連さんもいるそうです。これまでは、皇居のまわりのコースでしたが、日俳連が花伝舎に引っ越してきたのを記念して、今年は新宿中央公園近辺を歩きます。都心でありながら、意外に緑の多い一帯、秋の空気を感じながら俳優たちと歩いてみませんか。一人500円の参加費も、大勢集まるとちょっとした金額になります。今年は集まった金額は新宿区社会福祉協議会に寄付されることになっています。

10:30　集合（受付を済ませてください）
11:15　出発予定（雨天実施）

オペラコンサート

体育館をオペラの稽古に利用している二期会オペラ振興会が、特別に無料コンサートを開催します（13時ごろから。事前に整理券を配ります）。11月の『さまよえるオランダ人』オペラ公演を前に、稽古セットでプロの歌手が歌うのを間近で聞くことができます。オペラの舞台裏を垣間見ることができる、特別なチャンスです。

人形劇「ぼくにもできるかな人形劇」

「井村淳と仲間たち」による、幼児のための短編集。これから毎月第一土曜日は、人形劇が花伝舎に登場。その第一弾です。ぜひ、ご家族づれでご来場ください。（2回公演、11時と14時の回あり。前売り1,500円、当日2,000円　問合せ・申込み：03-3465-3584）

健康づくりコーナー

東京芸能人国民健康保険組合が開催。保健師さんが血圧、骨密度をはかり、健康づくりについて、アドバイスをくれます。（無料。11:00～15:00ごろ）

チャリティバザー　etc.

芸能関係者ゆかりの品が多数出品されます。
＊他にもいろいろな企画があります。

5月5日の子どもの日イベントのときも、地元商店街のご協力で、模擬店が並び賑わいました。

芸能に触れる

花伝舎で芸能を楽しむ――芸能に触れる場――

●落語、人形劇、コンサート、……この秋、花伝舎でいろいろな芸能を楽しんでください！

芸能花伝舎には、稽古にセミナーにと、毎日、舞台芸術に携わる人たちが大勢訪れるようになりました。本番に備えて稽古し、プロの腕を磨くことは必要ですが、やはり、お客さんに見てもらって、聞いてもらって芸能を広めていきたいというのが実演家たちの願いです。花伝舎は上演専用の施設ではありませんが、これまでも、オープニング記念として開催した５月５日の子どもの日イベントや、人間国宝の芸に触れる花伝シリーズ、落語と音楽の意外なコラボレーションにチャレンジする創遊シリーズなど、さまざまな芸能に触れていただく場として、一般の人々が芸能に親しめる機会を設けてきました。どこかしら懐かしい元小学校の教室で、演奏家や落語家の息遣いがすぐ間近に感じられるなんて、他では味わえないよさがある――。そんな好評の声に応えて、この秋には、舞踊会、演奏会、講演会、落語会、人形劇、芝居、……と、芸能に触れる場としても活用されます。花伝舎ならではの雰囲気を、ぜひ、味わってみてください。

花伝シリーズ

第２弾「身体で感じる江戸っ子気風」

● 99 年に人間国宝となった新宿区在住の西川扇蔵師（日本舞踊）。その至芸を体感するとともに、落語家の三遊亭小遊三師匠のインタビューによって、そのお人柄に触れることができる貴重な機会です。

日時 10 月 10 日(月・祝)　14:00 開演

第３弾「江戸の粋と艶」

● 01 年に人間国宝となった新内節の鶴賀若狭掾師は、江戸前の歯切れのよさと、哀切感が漂う格調高い語り口が人気です。インタビュアーは同じく三遊亭小遊三師匠。

日時 12 月 12 日(月)　19:00 開演

参加費 各 8,000 円（２回セット券の場合、14,000 円）

主催・問合せ 芸団協　tel：03-5909-3060

E メール：infope@geidankyo.or.jp

創遊シリーズ

第２弾「桂歌若と福森隆」

●マルチに活躍する新作落語の雄、桂歌若と、バイオリンのほかに尺八、三味線までも演奏するマルチプレイヤー福森隆がコラボレーション。さあ、何が飛び出すでしょう？

日時 11 月 11 日(金)　19:00 開演

参加費 2,000 円

主催 芸能花伝舎

企画協力 落語芸術協会・日本音楽家ユニオン

問合せ 芸団協　tel：03-5909-3060

E メール：infope@geidankyo.or.jp

土曜の午後の人形劇～東人協連続公演

●毎月第一土曜日は、芸能花伝舎に小さな人形劇場が出現します。東人協加盟劇団の人形劇の連続公演が 10 月からスタート。なまの舞台の楽しさを、ぜひ花伝舎で。

日程 第１回：「僕にもできるかな人形劇場」
10 月 1 日　11:00 開演、14:00 開演（２回公演）
前売 1,500 円、当日 2,000 円

第２回：「なかむらたかお ひとり人形劇　リスおとかめ吉」11 月 5 日　13:30 開演
前売 1,800 円、当日 2,000 円

第３回：「ピーターパン」12 月 3 日 11:00、14:00（２回公演）　前売 1,300 円、当日 1,500 円

主催 東日本専門人形劇団協議会

問合せ 下記各劇団か東人協事務局へ。

第１回：井村淳と仲間たち　tel：03-3465-3584

第２回：人形劇団ひとみ座　tel：044-777-2222

第３回：劇団 小さいお城　tel：0422-54-8572

または 東人協事務局　tel：03-3311-7321

E メール：dabdab@eva.hi-ho.ne.jp

芸能花伝舎落語会

●落語芸術協会が若手演芸家の活躍の場を広げるために開催する落語会。

第一回芸能花伝舎落語会

日時 10 月 5 日(水)　18:30 開演

出演 春風亭鹿の子、桂米多朗、三遊亭遊之介、春風亭小柳枝、神田ひまわり、松旭斎小天華、三遊亭遊吉

第二回芸能花伝舎落語会 ＜二水会＞

日時 10 月 12 日(水)　18:00 開演

出演 昔々亭慎太郎、桂小文治、三遊亭金遊、桂小南治、春風亭美由紀、山遊亭金太郎

木戸銭 各 2,000 円

９月９日に開催された創遊シリーズでは、桂平治（落語）と西崎進（作曲家）のコラボレーションで、「七度狐」と「死神」が演じられた。

７月７日に開催された花伝シリーズでは、人間国宝・山勢松韻（箏曲）が江戸の女性たちのお稽古ごとの魅力に迫った。聞き手は三遊亭小遊三。

「こども文化体験プログラム」の一部が芸能花伝舎に

５月５日に芸能花伝舎で開かれた子どもの日イベントには、近隣の親子連れが多数訪れて、人形劇、マジック、大道芸、バレエ、コンサートなどなど、多彩な芸能に触れて楽しんでいました。その成果を踏まえ、芸団協と文化協定を結んでいる新宿区の依頼で「こども文化体験プログラム」の一部に、芸能花伝舎が協力することになりました。

11 月の週末、新宿区内在住の子どもたちは、バレエや人形づくりと人形劇遊び、マジック体験などができます。参加募集は区報を通じて公募されています。

★谷桃子バレエ団によるバレエ・レッスン体験

日時 11 月５日(土)、６日(日)　各 10:30 － 12:00
対象 区内の小中学生　定員 各 20 名
場所 芸能花伝舎
参加費 100 円

★井村淳による人形づくりと人形劇あそび

日時 11 月 12 日(土)、13 日(日)　各 10:30 － 12:00
対象 区内の５歳から小学生　定員 各 30 名
場所 芸能花伝舎
参加費 200 円

☆マギー隆司によるマジック

日時 11 月 19 日(土)、20 日(日)　各 10:30 － 11:30
対象 区内の小中学生　定員 各 30 名
場所 四谷地域センター
参加費 200 円

申込み方法 官製はがきまたはファックスで、希望コース（バレエ、人形劇、マジック）と、参加希望日、氏名（ふりがな）、住所、電話番号、学年、保護者名を記入のうえ、10 月 20 日必着で、下記あて先まで送付してください。希望者多数の場合は抽選となります。

あて先 〒 160-8484 新宿区　本庁舎１F　文化国際課
『こども文化体験プログラム係』 FAX：03-3209-1500

芸能花伝舎でのバレエ・レッスンの様子

マギー隆司によるマジックショー。どんな驚きが待っているか楽しみ！

主催・問合せ 落語芸術協会　tel：03-5909-3080

「語り継ぐ会」第一回・江見俊太郎さんを偲んで

●故・江見俊太郎のライフワークだった、朗読「消えない星」と演劇「蒼い空」を、後輩達が心を合わせて、朗読・群読とギター弾き語り、琵琶などの音楽で綴ります。

日時 10 月 15 日(土)　14:00 － 16:00
演出 内田透　ご挨拶 松風はる美（江見未亡人）
出演 結城しのぶ、枝璃貴子、島田実、堀井真吾、船水京子、冨田祐一、津野哲郎、霜月アン、白石直也ほか
参加費 当日 3,500 円、前売 3,000 円
主催 「語り継ぐ会」
問合せ 「語り継ぐ会」制作事務局
担当：山口　tel：050-1030-5806

E メール：anne_shimotsuki@ybb.ne.jp

シンガーとマジシャンによるコラボレーション

大須賀ひでき＆高尾晃市
「真秋の夜の夢～シング・ア・イリュージョン」
●花伝舎で開催する青音協ライブ企画第一弾は、歌とマジック。秋の夜長に飲み物付のライブを楽しみませんか？

日時 10 月 28 日(金)　19:00
出演 大須賀ひでき（シンガーソングライター、ミュージカル俳優）＆高尾晃市（マジシャン、俳優）
参加費 2,000 円（１ drink 付）
主催・問合せ 日本青少年音楽芸能協会
tel：03-5909-3083　fax：03-5909-3084

タテヨコ企画◉ニューフェイス登板！～芸能花伝舎で芝居を観る会～

●タテヨコ企画の新シリーズ「教室芝居」。第一弾はバカバカしくてちょっぴり切ない家族モノ。若手中心の座組でお送りします。

日時 11 月２日(水)　15:00 公開稽古　19:30、３日(木) 15:00/19:00、４日(金) 15:00/19:30、５日(土) 15:00/19:00、６日(日) 15:00/19:00
作・演出 横田修
出演 青木亜希子・市橋朝子・児玉敬子　他
会費 前売り当日共 1,800 円（日時指定・全席自由）、公開稽古 1,000 円（要予約）、学生割引 1,500 円（要予約・当日受付にて学生証をご提示下さい）
主催・問合せ タテヨコ企画　tel：03-5490-3753
E メール：information@tateyoko.com

芸能花伝舎で学びあう――プロのための学校――

芸能花伝舎では、俳優、舞踊家、音楽家、演芸家などの実演家をはじめ、芸術団体の制作者や事務局などなどを対象としたセミナー、シンポジウム、ワークショップが数多く開催されています。また、広く芸能に関心のある方々にお集まりいただく研究会や体験講座もあります。10月からの予定についてご紹介します。

＊芸能花伝舎ホームページのスケジュールのページは、随時更新しています。そちらもあわせてご利用ください。

芸団協セミナー「実演家のための伝統芸能入門シリーズ」

●実演家限定の体験入門。特定の流儀に弟子入りはちょっと敷居が高い……、でも、さまざまな日本の伝統芸能に触れてみたい、学んでみたいという実演家に、まずお試しいただく短期間の講座です。この秋は、毎月、日本の語りシリーズにチャレンジできます。

常磐津の語り

●歌舞伎とともに発達してきた常磐津は、江戸ことばのリズムと呼吸を修得するには必須の講座。（三味線も用いますが、演奏法の修得は目指しません）

日時 10月19日(水)・20日(木)・21日(金) 10:30 － 12:30
講師 常磐津東蔵／常磐津和英太夫
受講料 6,000円（3回連続）

清元の語り

●同じく歌舞伎には欠かせない清元は、浄瑠璃もののなかでは最も新しく生まれた流儀。「明からす」を題材に、登場人物や情景描写の多彩さを味わってみましょう。

日時 11月14日(月)・15日(火)・16日(水) 10:30 － 12:00
講師 清元栄志太夫／清元志寿造、清元美十郎
受講料 6,000円（3回連続）

講談（大阪）

●江戸の講談が勇ましい軍談から発達したのに対し、上方の講談は町人口調の柔らかさとおかし味を特徴とします。なにわことばの語りを味わいましょう。

日時 12月5日(月)・12日(月) 14:00 － 16:00
講師 旭堂小南陵（芸団協理事）
受講料 4,000円（2回分）
主催・問合せ 芸団協 tel：03-5909-3060
E メール：seminar@geidankyo.or.jp

芸団協セミナー＜実演家、プロとしての基礎知識＞

プロとして仕事をしていくために――出演契約、著作隣接権、肖像権

●情報産業、コンテンツ産業への期待が高まる一方で、俳優、舞踊家、演芸家など、実演家が映像や舞台の仕事の依頼主と出演条件を決める際、知らないとトラブルのもとになることがらも増えています。今回は、押さえておくべき基礎知識を専門家に話していただきますが、聞き手は落語家。実演家の立場から、この際、納得がいくまでトコトン聞きましょう。

日時 11月17日(木) 14:00 － 16:00
講師 石島美也子 弁護士（橋元綜合法律事務所）
聞き手 桂 竹丸（落語家）
受講料 1,500円
主催・問合せ 芸団協 tel：03-5909-3060
E メール：seminar@geidankyo.or.jp

芸団協セミナー＜マネジメント基礎シリーズ＞

よくわかる著作権＆著作隣接権

●舞台公演の実施にかかわる著作権、著作隣接権について、基礎的なことを理解してもらえるよう、わかりやすくレクチャーします。

日時 11月8日(火) 13:30 － 16:30
講師 桑野雄一郎 弁護士
受講料 3,000円

文化政策と芸術団体の評価

●昨今は、公的支援を受けた芸術団体は、成果と効果を自己評価することが求められるようになってきました。本講座では、公的支援制度の現状を踏まえ、これからの芸術団体に求められることについて考えます。

日時 11月25日(金) 14:00 － 16:00
講師 米屋尚子（芸団協・芸能文化振興部／文化審議会文化政策部会）
受講料 3,000円（テキスト代を含む）

マーケティングのパラダイム転換とアート振興

●マーケティングの世界で重視されている「顧客関係づくり」とは？ 非営利組織や公共社会のマネジメント論の第一人者に、マーケティングの昨今の動向と芸術との関係についてお話いただきます。

日時 12月8日(木) 15:00 － 17:00
講師 井関利明（千葉商科大学政策情報学部長）
受講料 3,000円

制作者のための契約の基礎

●公演の依頼をする側、される側、出演を依頼する側、される側、双方が納得して気持ちよく仕事をしていくためには、契約条件の確認が肝心。契約に潜むリスクを正しく認識し、それを回避・軽減するか、あるいは覚悟するかの判断が大切です。

日時 2006年1月24日(火) 10:00 － 12:30
講師 二関辰郎 弁護士
受講料 3,000円
主催・問合せ 芸団協 tel：03-5909-3060
E メール：seminar@geidankyo.or.jp

◉芸団協セミナーの詳細は、Web サイトで。専用申込みフォームもあります。
http://www.geidankyo.or.jp/12kaden/04pro/index.html

アーツマネジメント

アーツマネジメントセミナー

10年後、あなたは演劇、続けていますか？
第4回「俳優がぐんぐん育つトレーニングのプログラム法！」
第5回「今、面白い芝居を作り続けている劇団ってどこ？」

●関西で開催されて好評だった講座が東京に初登場。第4回はヴォイス・ティーチャーの池内美奈子氏に、俳優を育てる有効かつ具体的なプログラムに関して伺います。第5回は年間200本を観劇、レビューを書き続けている高野しのぶ氏に日本の演劇公演の現状、また一番ホットな芝居について語っていただきます。

日時 第4回：10月5日(水)
第5回：11月6日(日) 18:00 － 21:00
講師 池内美奈子（10/5）、高野しのぶ（11/6）
受講料 各回3,000円（当日精算）
主催・問合せ ネットワークユニット Duo

tel：070-6682-7796
E メール：webmaster@unit-duo.net

制作者のつどい「制作者あつまれ!」

●ひとくちに制作者といっても、経験も志向もさまざま。でも、情報交換してみると、似たような悩みが意外に多い。もっと自由に交流を……。そんなきっかけづくりをと、毎回ゲストスピーカーを迎えて、制作者のつどいを定期的に開催しています。演劇制作に限りませんが、集団創作を行う舞台芸術の制作者で１年以上経験がある方、お弁当の試食をしながら、情報交換しませんか？

第三回　日時 10 月 18 日(火)　19:00 － 21:00
会場 1-1
ゲストスピーカー 加藤昌史（演劇集団キャラメルボックス　プロデューサー）

第四回　日時 12 月６日(火)　19:00 － 21:00
会場 1-1
ゲストスピーカー 森 正敏（劇団青年座 製作）

参加費 各回 1,800 円（お弁当代を含む。必ず事前予約のこと）
主催 Next ／芸団協
問合せ （Next）tel：03-5331-3676
E メール：Next@next-nevula.co.jp
（芸団協） tel：03-5909-3060
E メール：seminar@geidankyo.or.jp

文化経済学会＜秋の講演会 2005＞「アーツマネジメント教育と芸術現場」

●大学および大学院でアーツマネジメント教育が開始され 10 年余。この 10 年の教育の成果を検証し、これからの展望を考える。パート１：アーツマネジメント教育の到達点とその役割、パート２：インターン制度の現状と課題、パート３：アーツマネジメント教育と芸術現場との連携を深め、発展のための展望

日時 11 月 19 日(土)　10:30 － 17:00
会場 1-1　定員 90 名
参加費 1,000 円（学生 500 円）
申込方法 下記項目を学会事務局宛に、メールまたは FAX にてお知らせください。
Eメール：info@jace.gr.jp　fax：03-5909-3061
※電話でのお問合せ・お申込はご遠慮ください。
①希望講座、②氏名、③ご所属・勤務先、④連絡先住所、⑤ tel・fax、⑥ E メール
※受講票などはお送りいたしません。定員に達し、ご参加いただけない場合のみご連絡をいたしますので、ご了承ください。

俳優のためのワークショップ

藤野節子　マイズナーテクニック ワークショップ

●マイズナーテクニックの基本エクササイズであるリピティション・ゲーム（言葉の繰り返しゲーム）を使い、本来私たちが持っている動物的・直感的な感覚を磨き、相手に反応する／その一瞬一瞬に反応することを会得します。

日程 全９回　10:00 － 13:00
10 月 20 日(木)、27 日(木)
11月４日(金)、10日(木)、17日(木)、24日(木)
12月１日(木)、８日(木)、15日(木)
（段階を経て進んでいくテクニックなので、全回参加されることをお勧めしますが、単発でも受け付けております。ご相談下さい。）
参加費 2,000 円／１回　定員 12 名
主催 俳優指導者アソシエーション
問合せ 明樹（あかぎ） tel：080-5404-5987
E メール：yakagi63@ezweb.ne.jp

こんな企画もあります

京ことば塾

●四季折々の京の行事をひもときながら、京ことばの美意識についての理解を深め、さらに親しみます。

日時 11 月 12 日(土)、12 月 10 日(土)
15:00 － 17:00
講師 中島さよ子ほか
主催・問合せ オフィス臼井
E メール：usui@fg8.so-net.ne.jp

高田塾・作文教室

①自分史・自分物語コース
日時 第一期：10 月 20 日まで毎木曜
第二期：10月27日－12月22日　10:10－12:10
②ダイナミック文章コース
日時 第一期：10 月 20 日まで毎木曜
第二期：10月27日－12月22日　13:30－15:30
講師 高田城
参加費 16,000 円（全８回。芸団協関係者割引あり）
主催・問合せ tel:03-3296-0036
E メール：jo@jibunryu.com

創造スペースのご利用受付中●次の募集締切は 10 月 17 日(月)

芸能花伝舎には、舞台芸術の稽古用の６つのスペースと、会議・セミナー用の５つのスペースがあり、午前（10:00-13:00）、午後（13:00-17:30）、夜間（17:30-22:00）の区分でスペース貸し出しをしています。年末年始の休館期間および施設点検等の臨時の休館日を除き、土日祭日もご利用いただけます。

創造スペースのご利用希望については、一年を４期に分けてお申込みを受け付けています。年４回の募集締切の際、一次募集は、６ヶ月から９ヶ月先の期間を連続して長期に使用を希望される方を優先して受け付けます。二次募集は３ヶ月から６ヶ月先の使用希望を受け付けます。

直近の締切は、10 月 17 日(月)となっています。2006 年１月５日から３月 31 日までの二次募集と、06 年４月１日から６月末までの一次募集について受け付けます。ご利用を検討されている方はお急ぎください。

なお、今年 12 月 28 日までのご利用に関しては、空いている場合には随時お申込みを受け付けております。スペースの空き状況については、お手数ですが電話でお問合せください（受付時間は、原則として月曜から金曜の 10 時から 18 時です）。お申込みの受付に際しては、芸能団体と、長期連続利用のお申込みを優先させていただいております。スペースの詳細やお申込み方法などは、芸能花伝舎ホームページをご覧いただくか、花伝舎業務部へお問合せください。また、映画、TV 番組、CF、ビデオなどの撮影目的のご利用の場合は、ご利用の規定が異なりますので、別途、ご相談ください。

●ホームページ：http://www.geidankyo.or.jp/12kaden/06space/index.html
●花伝舎業務部：tel：03-5909-3066
fax：03-5909-3061
E-mail：kadensha@geidankyo.or.jp

地域との交流がひろがっています

この秋、芸団協・芸能文化振興部では、新宿区に協力して、＜こども文化体験プログラム＞や、西新宿小学校の＜子どもの居場所づくり事業＞に関わるなど、新宿区の子どもたちに芸能に触れる場をつくる事業を推進しています。芸能花伝舎に事務所をおく日本青少年音楽芸能協会（青音協）や、全国専門人形劇団協議会（全人協）加盟の団体が中心になって企画を進めていますが、子どもに対象を特定しない事業でも、地域との関係が広がり始めています。

10月16日は新宿区が主催する「大新宿まつり」の最終日で、戸山公園で「**ふれあいフェスタ2005**」が開催されます。芸団協は参加団体のひとつとしてブース出展をし、芸能花伝舎の運営協力団体とともに地域交流を行います。

このほかに、新宿区で開催される日韓交流イベントへの協力もあります。

芸能花伝舎の花壇にはいま、綿が実っています。
お寄りの際はご覧になってください。

今年は日韓国交正常化40周年で「日韓友情年2005」。新宿区には在日韓国人が多く、韓国企業と取引関係をもつ企業も多いことから、相互の友好関係を深めるために、日韓交流イベントが開催されます。芸団協では、10月10日に新宿区が開催する「**朝鮮通信使・韓日芸術公演**」や、12月1日に東京商工会議所新宿支部が開催する「**日韓舞踊と音楽の競演**」に協力することになりました。いずれも四谷区民センターホールで開催され、韓国と日本の芸能が披露されます。

芸団協では、このように新宿区や区内の団体との関係を深めることで、地域の人びとが芸能に触れる機会を増やしたいと考えていますが、芸団協だけでなく、昨今は芸術団体にとって、地域の人びととの関係をどのように深めていくかは重要なテーマです。各地で、いろいろな芸術団体の取り組みが期待されています。

芸能花伝舎の住人たち③　東芸国保フリー会

東芸国保フリー会とは、東京、神奈川、埼玉、千葉に在住で、東京芸能人国民健康保険組合に加入しているフリーランサーの実演家を会員としている団体で、現在、約4700人の会員がいます。昨年5月末、特定非営利活動法人東京芸能人フリー会を解散して、組織を新たに改変して再出発したところです。

「花伝舎に移転する前も、事務所は新宿区内だったのですが、そこはオフィスや店舗ばかりの地区でした。この界隈は古い商店街や新しいマンションがあって、地域住民の顔が見えてくる場所。芸能を通じての社会貢献を目指しているフリー会としては、地域貢献がやりやすい所に移転できた気がします」というのは作曲家で事務局の石川皓也さん。

それに何といっても、芸能関係団体の建物だから、実演家どうし、事務局どうしの打ち合わせも気軽にできて、便利なのは以前と比べようもない。また、セミナーや稽古に出入りする若い人たちに、フリー会や芸能人国保の存在を知ってもらえるのも大きなメリット。

9月21日には新宿区在住の60歳以上無料の「日本のメロディー」コンサートを花伝舎で開催した。「近隣のお宅への騒音を心配して、存分に音は出せないというけれど、いくつかのイベントを通じて、そんなに迷惑にはならないということも分かってきたから、これからはもっとミニコンサートなどで使っていきたい」と、イベントの計画もふくらみつつあります。

事務局から

芸能花伝舎をオープンしてから、かれこれ半年になろうとしています。防災訓練や地元のお祭りなど、町会の方々とのお付き合いも増えてきました。先日は衆議院議員選挙の投票所として利用されたため、近隣にお住まいの方々が、内装も変わって活気を帯びた旧淀橋第三小学校をめずらしそうに見ていかれました。

まだまだ「芸能花伝舎って、どこですか？」というお問合せを多く受けますが、この秋は、芸能花伝舎まつりをはじめ、さまざまなイベントがここで開催されます。実演家や制作者に向けた連続セミナーもあります。近隣の方々はもちろん、遠方からもまた来てみようと思ってもらえるような魅力的な場所にしていきたい、「花伝舎って知ってるよ」という方々が増えていってくれますように――芸団協をはじめ、ここに事務所を構える団体が力を合わせて、芸能文化拠点づくりに励んでいるところ、それが＜芸能花伝舎＞です。

芸能花伝舎
GEINOKADENSHA

芸能花伝舎　第3号　2005年9月30日発行　　発行人　野村 萬　　編集人　浜田 晃
発行所　社団法人日本芸能実演家団体協議会・芸能文化振興部　〒160-8374 新宿区西新宿6-12-30　芸能花伝舎2F
tel 03-5909-3060　　fax 03-5909-3061　　E-mail infope@geidankyo.or.jp　　URL http://www.geidankyo.or.jp/12kaden/index.html